

第103期 中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

株式会社 オーバル

証券コード：7727

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第103期上半期における当企業グループの事業概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における世界経済は、金融引き締め政策の継続による各国経済への影響や、中国の景気減速等、先行きが不透明な状況が続いております。一方わが国経済は、雇用・所得環境、企業収益が改善しているなかで、個人消費・設備投資は引き続き堅調を維持し、景気は緩やかに回復しましたが、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクもあり、物価の上昇も加えて先行きは不透明な状況が続きました。

このような経営環境のもと、当企業グループは「中期経営計画『Imagination 2025』」の最終年度として、経営理念“確かな計測技術で、新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献します。”に基づき、企業活動を通じてこれまで培ってきた技術をより一層深化させて、持続可能な社会の実現に貢献する商品およびサービスを提供してまいりました。さらに、アジアNo.1のセンシング・ソリューション・カンパニーを目指し、持続可能な成長と中長期的な企業価値の向上にも取り組んでおります。

当中間連結会計期間は、上記の取り組みを行うなかで、受注高は7,939百万円（前年同期比9.5%減）と前中間連結会計期間を下回りましたが、売上高はシステム部門の大口受注案件の売上計上があり、7,128百万円（同2.2%増）と上回る結果となりました。利益面につきましては、DX推進における業務の効率化による人件費などの固定費率減少への取り組み、また、原材料費の上昇を踏まえた一部商品の値上げを継続的に実施した結果、営業利益は689百万円（同13.6%減）、経常利益は624百万円（同26.8%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は422百万円（同23.2%減）となり、いずれも前中間連結会計期間を大きく下回ったものの、一昨年度の2023年3月期中間連結会計期間を上回る結果となりました。これは、前中間連結会計期間に、2023年2月24日付けでAnton Paar GmbHとの間で、コロリ流量計および電磁流量計に係るライセンス契約を締結しており、知的財産のライセンスの対価である契約一時金の収受があり、受注高・売上高・各利益に寄与した影響によるものです。

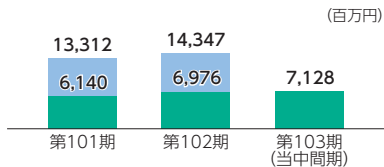
また、当社は、株主の皆様への利益還元を継続して行うことを経営の重要課題の一つとしており、配当を最も重視すべき利益還元であると認識し、経営基盤の確保と将来の事業展開に備えた財務体質の充実を総合的に勘案し決定することを基本方針としております。この基本方針を踏まえ、当期の中間配当金につきましては、前年と同額の1株につき7円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

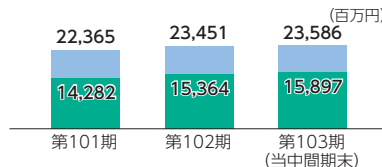
2024年12月

連結財務ハイライト

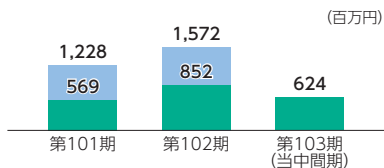
売上高
71億28百万円
(前年同期比2.2%増)



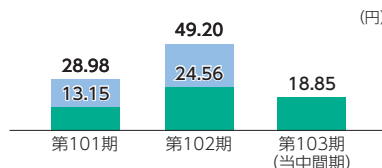
総資産
235億86百万円
(前期末234億51百万円)



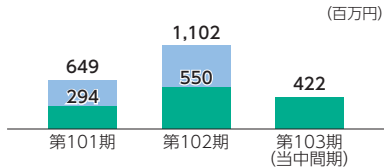
経常利益
6億24百万円
(前年同期比26.8%減)



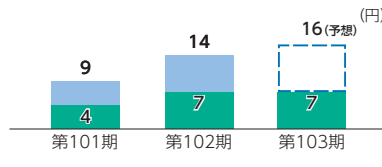
1株当たり中間(当期)純利益
18.85円
(前年同期比△5.71円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益
4億22百万円
(前年同期比23.2%減)



1株当たり中間配当金
7円
(前年同額)



① 液体用電池駆動式クランプオン形超音波流量計「UC-1」 東京計器株式会社と共同開発

「脱炭素化」や「省エネルギー化」に関連する取り組みが推進されており、資源の効率的な活用のために計測器を用いた「エネルギーの見える化」のニーズが増えています。しかし、配管工事や電気工事、配線工事などの設置コストが高く、導入が難しいというお客様の声がありました。

この声に応えるべく、流体計測機器の専門メーカーとして流体計測技術を培ってきたオーバルと、超音波流量計を世界で初めて世に送り出した東京計器株式会社の2社で、完全工事不要の流量計「液体用電池駆動式クランプオン形超音波流量計 UC-1」を共同開発し、販売を開始いたしました。

■製品特長 お客様の声を反映した4つの不要

- ①配管工事不要、さらに1機種で25~100Aまでの8口径を計測可能
- ②配線工事不要、無線出力タイプにより遠隔での流量管理が可能、同時発売の「ミスター省エネ* 対応パネルマウント形積算計 EL9240」を使用すると、パソコンなどの機器無しで無線計測が可能
- ③外部電源不要、内蔵電池で10年間稼働
- ④取付工具不要、手締め樹脂バンドによりドライバーなどの工具が不要

オーバルは、今後も、SDGsに資する、脱炭素化の未来を支える商品の開発に努めてまいります。

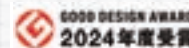
*「ミスター省エネ」はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。



UC-1

② 「UC-1」が「2024年度グッドデザイン賞」を受賞、さらに「私の選んだ一品」に選出

上記「UC-1」が、2024年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。さらに、審査委員一人ひとりが個人的なお気に入りや注目した受賞デザインを選び、紹介する「私の選んだ一品」にも選出されました。



EL9240

■グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

社会の基幹となるインフラの安定運用に必須となる流量計。徹底した現場へのヒアリングを通じて、これからの時代に求められる製品を適切なデザインに丁寧に落とし込んでいく点が高く評価された。また、2社が会社の垣根を越えて、革新的な流量計をつくるべく協力をした。そのプロセスについても、広く世の参考になる好事例である。本製品のデザインに関わった関係者のみなさまに、深く敬意を表したい。

■私の選んだ一品に選出した審査委員/コメント

石川 善樹/予防医学研究者
持続可能なインフラ整備に不可欠なのが、流量計測になります。本製品は会社の枠を超えたコラボレーションのもと、徹底して顧客の声に向き合い、様々な現場の課題を一気に乗り越えるべく丁寧にデザインされている点が高く評価されました。ぜひ多くの方に本製品はもちろん、そのデザインプロセスについても注目いただきたいです。

報告書の発行取りやめのお知らせ

当社ではこれまで6月と12月の年2回、株主の皆様へ、本報告書をお届けしておりましたが、地球環境に配慮した省資源化の観点、および当社ウェブサイトの内容と一部重複していることから、次回より発行を取りやめさせていただきます。

今後は、当社ウェブサイトにおさまって、より分かりやすい情報発信に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、何卒ご理解いただきますとともに、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要/株式関連情報

■会社の概要 (2024年9月30日現在)

商号	株式会社オーバル (英文商号: OVAL Corporation)		
代表者	谷本 淳		
創業	1949年(昭和24年)5月10日		
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場		
資本金	22億円		
事業内容	1. オーバル歯車式およびその他各種流量計の製作販売 2. 計測管理およびエネルギー管理用諸機器、諸装置の製作販売 3. 計装及び環境制御に関する諸工事ならびにこれに関連する諸機器の製作販売		
従業員数	689名(連結)		
本社	〒161-8508 東京都新宿区上落合三丁目10番8号 Tel.03-3360-5009 (経営企画室)		

■取締役および執行役員 (2024年9月30日現在)

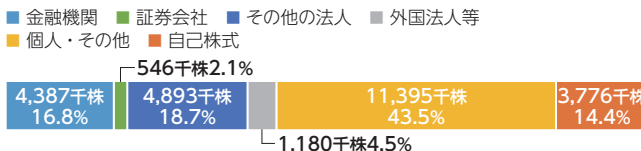
代表取締役社長	谷本 淳	社外取締役 常勤監査等委員	高橋 靖宏
取締役 兼 常務執行役員	浅沼 良夫	社外取締役 監査等委員	寺尾 吉哉
取締役 兼 常務執行役員	加藤 芳樹	社外取締役 監査等委員	松本 正
取締役 兼 常務執行役員	新國 誠治	社外取締役 監査等委員	牛島真紀子
取締役 兼 常務執行役員	小熊 仁	社外取締役 監査等委員	市村 隆博
執行役員	今井 信介	執行役員	田中 直人
執行役員	山森 康一	執行役員	藤原 康之

■株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株		
発行済株式の総数	22,403,895株 (自己株式3,776,105株を除く)		
株主数	7,930名		
大株主の状況			
株主名		株式数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社		1,900	8.5
東京計器株式会社		1,309	5.8
轟産業株式会社		1,141	5.1
株式会社三笠		811	3.6
日本生命保険相互会社		691	3.1
横河電機株式会社		512	2.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		458	2.0
オーバル取引先持株会		360	1.6
加島 淳一郎		355	1.6
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)		319	1.4

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■株式の分布状況 (2024年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日~翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江戸川区私書箱第29号 Tel.0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告 URL <https://www.oval.co.jp> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 オーバル

